



# 大好き いばらき



## CONTENTS

- 2 大好き いばらき 県民運動 表彰式
- 4 第13回 花いっぱい運動のつどい
- 5 ふれあい交流イベント
- 6 大好き いばらき ネットワーカー活動推進大会
- 7 大好き いばらき ふるさと自慢大会
- 8 大好きいばらき週間
- 9 「LOVE TRAIN(常総線)2011」
- 10 コミュニティ協働事業
- 11 食と農を通じたエコライフ運動の集い～地域との連携～  
第12回「いばらき教育の日」推進大会
- 12 インフォメーション

11月8日に開催した「大好き いばらき ふるさと自慢大会」では、常陸太田市立金砂郷小学校の児童が伝統芸能である「西金砂田楽」を披露しました。

**大好き いばらき 県民運動**  
福祉社会づくり 生活環境づくり  
人づくり 茨城の風土づくり

各地域で行われている青少年育成・福祉・生活環境など、さまざまな分野での活動を、県民や団体、企業、行政が手をつないで支えあい、やさしさとふれあいのある茨城を創っていく運動、それが「大好き いばらき 県民運動」です。

第39回

## 花と緑の環境美化コンクール

平成  
23年度

# 大好き いばらき

12月1日(木),水戸市の県民文化センター小ホールにおいて、「大好き いばらき 県民運動表彰式」を開催しました。

39回目を迎えた「花と緑の環境美化コンクール」では、762の団体や学校に参加いただき、厳正な審査の結果、72団体が表彰されました。美しい花々を咲かせるために尽力された各団体の素晴らしい成果を目の当たりにすることができました。

### 茨城県知事賞



【フラワーロードの部】  
潮来市大塚野ボランティア新世纪



【地域の部】  
小坂花の会(牛久市)



【団体・職場の部】  
土浦市三中地区市民委員会(土浦市)



【学校の部】  
大子町立袋田小学校



【学校の部】  
常陸太田市立水府小学校 鋼田市立鋒田北幼稚園・環境整備委員会



【学校の部】  
阿見町立阿見小学校



【学校の部】  
古河市立上大野小学校

#### ●審査講評

中央審査委員長 岡田 三美氏

東日本大震災や連日の猛暑の影響などもあり、花壇の修繕、水やりや草とりなど、花壇づくりは例年にもまして大変ご苦労があったことと思います。

花壇づくりは、メインとなる花壇をはっきりさせることができ花壇を引き立たせる重要なポイントになります。

次に、配色や配置を工夫することも重要です。赤や青、黄など原色で統一したり、プランターを斜めに置いたり立体的にしたりすることでボリューム感を出すことができます。

最後は、花に合った花壇の管理をすることです。思い切って刈り込んで花の高さを揺えたり、咲き終わった花や枯れてしまった花は摘んでしまうと、管理の行き届いたきれいな花壇に見えます。花いっぱい運動を通して、「やさしさとふれあいのある茨城づくり」の輪が県内全域にますます広がっていくことをご期待申し上げます。

#### 【応募数】

フラワーロードの部	41
地域の部	372
団体・職場の部	80
学校の部	269
合計	762

#### 【表彰団体数】

茨城県知事賞	8団体
茨城県議会議長賞	7団体
茨城県教育委員会教育長賞	8団体
茨城新聞社長賞	8団体
茨城県花き農芸協会会長賞	8団体
茨城県造園建設業協会会長賞	8団体
大好きいばらき県民会議理事長賞	25団体

# 県民運動表彰式

## 大好き いはらき 県氏連



### 茨城県知事賞



「私がこの夏休みに気づいた事」  
潮来市立潮来小学校  
かわそめ ちひろ  
川染 智景さん



「ぼくと大子と夏休み」  
龍ヶ崎市立龍ヶ崎西小学校  
てらだ こうすけ  
寺田 浩亮さん



「千波湖の四季」  
水戸市立第四中学校  
こまつ さゆき  
小松 咲雪さん



「あつたけななあ、茨城の人」  
県立水戸第三高等学校  
やまざき わい  
山崎 芽依さん

### ●審査講評

審査委員長 大内 善一氏 茨城大学教育学部教授

多くの児童・生徒の皆さん、3月11日に起きた東日本大震災の経験をつづっており、皆さんのご苦労がうかがえ、読んでいて胸が締め付けられる作品もございました。

作文を書くことを通じて、今の自分には何が出来るのか、自分は将来何がしたいのか、またこれからのはらきについて、改めて見つめ直すきっかけになったようです。応募のあった作品のうち、約4割が将来就きたい職業について、そして約3割がまちづくりについて書かれており、これらの作品の多くは、自らの経験をもとに、あふれる想いが表情豊かに表現されていました。

児童生徒の皆さん一人ひとりが、この作文コンクールを通して学んだことを忘れずに、私たちが「いはらきの未来」を作っていくのだという気持ちを持ち続け、郷土を守り愛する大人になっていただくことを心より願っております。

第22回

## 大好きいはらき 作文コンクール

第22回を迎えた「大好きいはらき作文コンクール」は、「いはらきの未来、私の夢」をテーマに494校から8,935点もの応募を頂き、審査の結果、57作品が受賞されました。震災という困難を乗り越えた子どもたちの希望に満ち溢れた想いや、地域・家庭に対する想いなどが子どもらしい素直な表現でつづられていました。



「私がこの夏休みに気づいた事」  
潮来市立潮来小学校  
かわそめ ちひろ  
川染 智景さん



### [応募数]

小学校低学年の部	993
小学校高学年の部	3,299
中学校の部	4,465
高等学校の部	178
合計	8,935

### [表彰者数]

茨城県知事賞	4名
茨城県議会議長賞	4名
茨城県教育委員会教育長賞	4名
茨城新聞社長賞	4名
大好きいはらき県民会議理事長賞	41名



平成23年度 花いっぱい運動定着化促進事業

# 花いっぱい運動のつどい

大好き いばらき 県民会議と(財)げんでん ふれあい茨城財団では、花と緑でやすらぎと潤いのある地域をつくる県内の活動がさらに普及・定着化することを目指し「花いっぱい運動定着化促進事業」を実施しています。

昨年の11月19日(土)に水戸市植物公園で開催した「花いっぱい運動のつどい」では、継続して活動に取り組み、定着化に努力する団体や学校へ支援認定書の交付を行いました。また、花づくりに取り組む団体の皆様の交流と親睦を深めていただくとともに、花づくりへのアドバイスや意見交換を行い、活動をさらに広げていくきっかけ作りを行いました。

大好き いばらき 県民会議では、これらの活動を通して「やさしさとふれあいのある茨城づくり」を目指しています。



認定証交付式

## 【講師紹介】

水戸市植物公園 園長

**西川 綾子氏**

Nishikawa Ayako

東京都生まれ。筑波大学農林学類で花卉(かき)園芸学を専攻。

昭和62年に水戸市植物公園の開園にあたり勤務し、現在も水戸市植物公園園長として園内の運営にあたる。NHK「趣味の園芸」の講師として活躍する一方、各地で植物に関する講演や花壇づくりを精力的に行ってい



認定証の交付

「認定花壇」の看板も贈呈しました。



## ■花いっぱい運動定着化促進事業 支援団体一覧

### ○団体の部／15団体

- 1 松之草高齢者クラブ 松寿会(常陸大宮市)
- 2 芳ゆみ保育園(常陸大宮市)
- 3 いきいきときわ会(那珂市)
- 4 福田高砂会(那珂市)
- 5 水木十文字花壇を守る会(日立市)
- 6 かみあい道篠クラブ(日立市)
- 7 河原子えぼしクラブ(日立市)
- 8 安房南区(鉾田市)
- 9 鉾田市立鉾田北幼稚園(鉾田市)
- 10 特定非営利活動法人 虹の家(鉾田市)
- 11 小坂団地 朗人クラブ(牛久市)
- 12 第八回見力トレアの会(牛久市)
- 13 二の宮みどりの会(つくば市)
- 14 山王福寿会(美浦村)
- 15 せせらぎ行政区老人会めばえの会(古河市)

### ○学校の部／23団体

- 1 水戸市立三の丸小学校
- 2 笠間市立佐城小学校
- 3 常陸大宮市立緑川中学校
- 4 那珂市立額田小学校
- 5 城里町立荒北小学校
- 6 東海村立白方小学校
- 7 日立市立大久保小学校
- 8 日立市立金沢小学校
- 9 常陸太田市立山田小学校
- 10 常陸太田市立北中学校
- 11 北茨城市立翠川中学校
- 12 北茨城市立中臺小学校
- 13 潮来市立大生原小学校
- 14 鉾田市立旭北小学校
- 15 土浦市立都和小学校
- 16 土浦市立都和中学校
- 17 つくば市立吾妻中学校
- 18 かすみがうら市立安藤小学校
- 19 阿見町立朝日中学校
- 20 古河市立小堀小学校
- 21 桜川市立桜山中学校
- 22 常総市立畠田小学校
- 23 五霞町立五霞東小学校



# ふれあい交流イベント

## ～地域みんなで子育て支援～

核家族化により、地域のつながりが希薄になっている現代では、子育ての不安を抱える人が少なくありません。家族間だけではなく、地域みんなで一緒に子育てを支援しましょう。

10月14日（金）、県西総合公園にて筑西市地域女性団体連絡会と連携し「ふれあい交流イベント」を開催しました。

子育て中の家族や地域の方々など100名が参加したこのイベントは、「地域みんなで子育て支援」をテーマに、講師の川口ヒロミさんによるお話や、ふれあい体操、布遊び、運動会などが行われました。会場は笑顔と笑い声で溢れ、子どもも大人も一緒になって普段できない遊びを楽しんでいました。また、川口さんのお話にあった、子どもに「触れる」「目を見る」「一緒に行動する」ことの効果や大切さを、遊びを通じて学ぶことができました。後半では、子育ての中で感じている不安や悩みを話し合う情報交換交流会も行われ、地域の方との交流が深まりました。

### 【講師紹介】

#### 川口 ヒロミ氏

Kawaguchi Hiromi



東京女子体育大学卒業後、古河第六小学校教師を経て渡米。ニューヨークにダンス留学。福岡にてテレビふくおか・劇団・ミュージカルなどの演出、振り付けを行う。現在、結城第二高等学校非常勤講師。保育園や幼稚園でリズム体操を小学校で家庭教育学級、障害を持った子のふれあいダンスを指導。東京医科大芸術療法士セミナー受講、社団法人現代舞蹈協会会員、茨城県青少年指導員、筑西市青少年相談員。大好き いばらき ネットワーカー。

### 参加者の声

- ・子どもが小さいので静かにしていられるか心配だったが、幅広く楽しめる内容だったのでよかったです。
- ・体を動かしたり大勢の人と触れ合ったり、このような機会があればまた参加したい。
- ・体育館で体操したり、子どもがおもいっきり走ったりできてとてもよかったです。



ふれあい運動会



大布を使って  
フワフワ遊び



トンネルボッポ



ふれあい体操



特集 平成23年度 大好き いばらき  
ネットワーカー活動推進大会

2011年  
11月8日(火)  
場所:パルティホール  
(常陸太田市民交流センター)

テーマ

がんばろう!ネットワーカー  
～震災からの復興～

県内各地で地域活動を実践し、県民運動の普及に努めている  
「大好き いばらき ネットワーカー」等が集い、県民運動の推進と  
震災からの復興について意見交換を行いました。



ネットワーカー等連絡協議会代表者によるパネルディスカッション



コーディネーターの長谷川幸介氏

「がんばろう!ネットワーカー～震災からの復興～」をテーマに、茨城大学准教授の長谷川幸介氏をコーディネーターに迎え、5人のネットワーカー等連絡協議会代表者によるパネルディスカッションを行いました。

パネリストからは、震災時には、自助、共助、公助の考え方方に即した行動となったこと、震災を機に、家族の絆などの普段みえない絆を感じたことや、的確な情報伝達と防火訓練の重要さを実感し、事態に備えたつながりづくりを決意したこと、若い人が頼りになることに気付かされ、若い人の負担にならないよう高齢者自身が体を鍛えて自ら守ろうと話し合ったことなどが発表されました。

家庭でキャンドルナイトを行おうという意見には、幡谷理事長から、震災時に小さな灯火のなかで家族が夕飯を食べた、その思いを月に一度共有し、家族の絆を

大切にしようと話がありました。

長谷川氏からは、茨城県民としての暮らしの振る舞いが、人間のつながりをつくり、そのつながりに重きをおく団体が大好き いばらき 県民会議で、安心をつくっているのだという話がありました。さらに、震災に立ち向かったネットワーカーに、その役割である「県民運動の発信・普及・実践・調整」の中心に「絆づくり最前線」の言葉を入れようと提案をいただき大会は終了しました。

■コーディネーター 長谷川 幸介氏(茨城大学 准教授)

■パネリスト 木村 勉氏(常陸大宮市ネットワーカー協議会 会長)  
都司 敏枝氏(水戸市ネットワーカー連絡協議会 会長)  
五十嵐 栄子氏(ネットワーカーかしま 会長)  
西村 重之氏(利根町ネットワーカー協議会 会長)  
齊藤 勇氏(猿島町ネットワーカー等連絡協議会 会長)

平成23年度

# 大好き いばらき ふるさと自慢大会

茨城県と大好き いばらき 県民会議では、茨城のイメージアップ及び県民の郷土に対する愛着や誇りを高めるため、身近なふるさとの魅力をネットワーカーが発表する、大好き いばらき ふるさと自慢大会を開催しました。

11月8日(火)に常陸太田市パルティホールにおいて、「大好き いばらき ふるさと自慢大会」を開催しました。当日は550名もの参加者が訪れました。

ふるさと自慢大会の発表では、常陸太田市立金砂郷小学校の西金砂田楽の発表をはじめ、団子念仏の実演、パワーポイントによる馬掛からの霞ヶ浦眺望の紹介など、14団体がそれぞれの方法でふるさと自慢を行い、熱意や創意工夫のある発表に参加者も聞き入っていました。



牛久市ネットワーカー連絡協議会による「団子念仏」の実演

## 大好き いばらき ふるさと自慢大会発表団体一覧

冊子「ふるさと自慢」には発表内容の詳細を掲載しています。

1. 常陸太田市立金砂郷小学校  
「西金砂田楽について調べたこと」
2. 大好きかさまネットワーカー連絡協議会  
「古今懶々かきま」
3. ひたちなか市ネットワーカー連絡協議会  
「ひたちなか海浜鉄道で行く歴史スポット那珂湊」
4. 水戸市ネットワーカー連絡協議会  
「万葉の御代から暮らしに息づく水の都・水戸の湧水」
5. 牛久市ネットワーカー連絡協議会  
「団子で仏様をお出迎え」
6. 湖東市ネットワーカー連絡協議会  
「福井山公園」
7. 守谷市ネットワーカー連絡協議会  
「町内は皆一家～安全・安心なまちづくり・終の棲家をめざして～」
8. 茨城町ネットワーカー連絡協議会  
「朝もやの沼と夕照の筑波を眺める」
9. 桜川市ネットワーカー連絡協議会  
「『やまゆり』の里づくり」
10. 大好き美浦村ネットワーカー連絡協議会  
「霞ヶ浦のほとり「馬掛」からの霞ヶ浦眺望」

The grid contains 14 cards, each representing a different organization. The cards are arranged in three rows: Row 1 has 4 cards, Row 2 has 5 cards, and Row 3 has 5 cards. Each card includes a small thumbnail image, the organization's name, and a brief description of their entry.

11. 常陸大宮市ネットワーカー連絡協議会  
「常陸の国をまなぶ会「収穫祭と楽舞」」
12. 那珂市ネットワーカー連絡協議会  
「「静峰ふるさと公園」でのイベントと景観づくり」

13. ネットワーカーかみす  
「小学生が郷土の無形文化財「ささら舞」を受け継ぐ」
14. 大好きおおたネットワーク  
「赤レンガと銀杏まつり」と  
「愛子おばあちゃんのひょうたんランプ」」



### 動画と冊子の案内

ふるさと自慢大会の動画と冊子を作成しました。大好き いばらき 県民会議のホームページからダウンロードすることができます。

<http://www.daisuki-ibaraki.jp/hurusatojiman.html>

\*詳しい検索方法は裏表紙へ

また、大好き いばらき 県民会議では、みなさんのふるさと自慢を募集しております。大好き いばらき 県民会議からダウンロードできる様式で、みなさまのふるさと自慢を送ってください。

# 大好きいばらき週間

2011年  
11月7日(月)~13日(日)

一人でも多くの県民が、より一層「いばらき」を好きになるように、  
全県的に各地区のネットワーカー等連絡協議会が県民運動を展開しました。

茨城県では、平成21年度から毎年11月7日～13日までの期間を「大好きいばらき週間」として定め、県や市町村、ネットワーカー等連絡協議会などが主体となって、県内各地でイベントを実施しています。

期間中は各団体が県民運動を各地域で広げ、定着化させるために活動しました。



公園の砂場の掘り起こし整備の様子

## 県内ネットワーカーによる県民運動キャンペーン

### 常陸大宮市ネットワーカー協議会

[会長]木村 勉

11月13日(日)の県民の日に、山方トンネル手前にある花壇の手入れを行いました。停車中の運転手さんには「大好きいばらき週間」の説明なども行いました。



### 大好きひたちネットワーク

[代表]柴田 純昌

11月10日(木)に、登校する中学生を対象に「あいさつ・声かけ運動」を実施しました。お互いに笑顔で挨拶することで、明るい雰囲気をつくることができました。



### 利根町ネットワーカー協議会

[会長]西村 重之

11月10日(木)に、町内の公園内外の草刈りや砂場の掘り起し整備、樹木の剪定等を行いました。

近隣住民との触れ合いまもあり、今後も継続して行っていきたいです。



### つくばみらい市ネットワーカー等連絡協議会

[会長]占部 雄一郎

11月7日(月)に、市役所前の花壇の植え替えを行い、11月9日(水)には地球温暖化防止の一環として、CO<sub>2</sub>の削減を目指し、つくばりんりんロードにおいてサイクリングを実施しました。



# 「LOVE TRAIN(常総線)2011」

12月10日(土)「LOVE TRAIN(常総線)2011」が開催されました。



46号広報紙「大好きいばらき」でも投稿として掲載した「LOVE TRAIN(常総線)2011」が12月10日(土)に開催されました。このイベントは、若い男女の出会いの場として提供し、一組でも多くのカップルが生まれ、地域の活性化や少子高齢化対策の一助になるようにと、八千代町、常総市、守谷市、つくばみらい市、取手市、下妻市の各ネットワーカー協議会が共同で開催した事業です。

当日、イベント用に施された貸切車両「LOVE TRAIN」は守谷駅から下館駅へ、そして終着駅の下妻駅まで走りました。

車両内では、簡単なゲームや自己紹介が行われ、普段とは違うシチュエーションの中、参加者の男女が会話を楽しんでいました。

下妻駅到着後は「ピアスパークしもつま」に移動し、イタリア料理を味わいながらのフリートークで、始めは緊張していた参加者同士も少しずつ打ち解け、リラックスした様子でした。めでたく複数のカップルが誕生し、また、終了時には次回の開催を希望する参加者の声もあり、大盛況の中イベントが終了し、各ネットワーカー協議会の絆も深まりました。

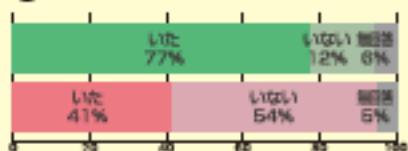
## 参加者アンケート

- ・楽しかった♥ありがとうございました。
- ・アイディアが素晴らしい！
- ・楽しい時間をありがとうございました！
- ・貸切列車を増やして欲しい。
- ・複数回連続でやると面白いかも。  
もう少し知り合いたい方もいた。
- ・良く企画されていると思います。

### ① 参加していただいた方のアンケート



### ② 話したいなあ、という方はいましたか？



### ③ またこのようなイベントに参加したいと思いますか？



### ④ またこのようなイベントに参加したいと思いますか？



## 投稿記事を募集しています。

広報紙「大好き いばらき」で、皆さんの活動をPRしてみませんか？大好き いばらき 県民会議では、皆様からの投稿記事を募集しています。豊かな地域づくりのために、活発に展開している地域活動等をホームページや広報紙で紹介します。ぜひ、ご投稿ください！

[お問合せ] 大好き いばらき 県民会議：TEL.029-224-8120

# 平成23年度 コミュニティ協働事業

大好き いばらき 県民会議では、「地域の課題は地域で解決する」「自分達の地域は自分達で良くしていく」という地域活動団体等の自主的・主体的な取り組みの強化と地域の活性化を促進させるため、地域の諸課題解決に向け活動団体同士が協働で取り組む事業を支援しています。

○対象 32事業(応募総数34事業)

対象事業は、大好き いばらき 県民会議のホームページをご覧ください。

<http://www.daisuki-ibaraki.jp/community.html>



## 布絵本づくりを広げよう

NPO法人くらし協同館なかよし／壁読書会&ブレイルーム

子育て中の母親や高齢者を対象に、布絵本作りや布のおもちゃ作りの講習会を実施して手作りの楽しみを広げました。



布絵本作りの講習会

## 災害に強いまち・ひとづくり ～これであなたもヒーローだ～

市民ネットワーク わくわくプロジェクト土浦 他(全3団体)

商店街の空き店舗や市の施設を使用して、市民の身近な話題についての各種講演会や、年齢に関係なく誰もが家でもできるような簡単な運動の紹介などを行いました。



ヒーローショウによるちびっこへの防犯啓発活動

## OH~Mi やっべ～ ニュースポーツの会

常陸大宮市ネットワーカー協議会

常陸大宮市山方高齢者クラブ連合会

ニュースポーツ体験交流会や健康保持のための講演会を通じて、ニュースポーツの定着化を図りました。



「バッゴー」を  
体験している  
地域の方々

## 笑顔のひろばフェスティバル

とりで障害者協働支援ネットワーク(全17団体)

ボランティア団体の活動紹介をはじめ、バザーや盲ろう体験コーナー、福祉相談コーナーなど、障害についての理解を深め、支え合うことを目的として開催しました。



笑顔のひろば  
フェスティバル

平成23年度 茨城県生活学校連絡会 研究集会  
**食と農を通じた  
エコライフ運動の集い  
～地域との連携～**



茨城県生活学校連絡会では、東日本大震災を受けて消費者として何ができるかを考え、節電・節水や風評被害、放射線問題についての勉強会などを行ってきました。

2月20日(月)に茨城県青少年会館で開催した研究集会では、茨城大学教授の中島紀一氏の基調講演の後に、各地区での研究成果を発表しました。茨城県生活学校連絡会では、今後も継続して「もったいないの輪」を実践、推進していきます。

平成23年度  
「食を通じたエコライフ運動」研究集会 開催一覧

1.県北地区

食から考える環境問題「郷土を愛する健康食」

無駄な食事の量を削減し、健康で明るい街づくりをテーマに健康食を考えました。栄養士に依頼し、地産品を取り入れたバランスの良い一日の献立を作成しました。

2.中央地区

皆で考えよう郷土を愛するエコライフ「震災を体験して『保存食を活用した料理』」

震災の体験から「保存食を活用した料理」をテーマに、缶詰や乾物を利用した調理実習を通して、非常時に備える事を学びました。

3.南行地区

放射線問題、風評被害に負けない為のエコライフ

おにぎりコンテスト大会や対話集会、講演などの他、地元の食材を考えるきっかけになるよう、伝統料理(飾り寿司)の実習等も行いました。

4.県西地区

健康的な食生活から環境問題を考える

食の安心安全の上で重要な、地産地消の実践を行いました。「常陸秋そば」の材料を使用したそば打ち体験などを行いました。

5.県南地区

地元産品を使い、東日本震災復興を支援しよう

地域との連携をテーマに地元の食材を使いお惣菜を作り「さわやかフェア」で販売しました。地域の住民の皆さんとの夕食の手助けが出来て、大変喜ばれました。

みんなで教育を考える 第12回  
**「いばらき教育の日」  
推進大会**



茨城県は11月を教育月間とし、11月1日を「いばらき教育の日」と定め、県民の教育に対する关心と理解を深め、学校、家庭及び地域社会が連携して教育の充実と発展を図り、明日の茨城を担う子どもたちを育成するとともに、生涯にわたって地域社会の形成に主体的に参画する人づくりを進めています。



推進大会では優秀原語の表彰や並行表彰、優秀教員表彰、県内の教育に携わる有識者によるパネルディスカッションが行われました。

●テーマ

「社会全体での教育力の向上を目指して」

～一人一人が輝く茨城の教育を考える～

■パネルディスカッション■

■コーディネーター

砂川 洋一 氏(茨城県学校長会会長・水戸市立五郎小学校長)

■パネリスト

川上 美智子 氏(茨城キリスト教大学教授)

田賀 直樹 氏(茨城キヤリア教育協会理事)

中川 謙夫 氏(茨城県子ども会育成連合会会長)

■アシスタント

山田 隆士 氏(いばらき教育の日推進協議会委員長・茨城県女性プラザ監修)

大好き いばらき 県民会議は、推進大会の開催にあたり、実行委員として積極的にバックアップしています。

## 平成24年3月11日(日)には、被災者への追悼と復興を祈念して、県内4箇所で同時にキャンドルナイトが開催されました。

大好きいばらき県民会議では、東日本大震災からの復興に向けた取り組みを支援しています。



### 大好きいばらき ふるさと自慢冊子及び動画のダウンロード方法

- 1.インターネットで「大好きいばらき県民会議」と検索します。
- 2.大好きいばらき県民会議ホームページにて、「大好きいばらき県民会議からのお知らせ欄」の「平成23年度 大好きいばらきふるさと自慢の動画と冊子を掲載しました。」をクリックしてダウンロードしてください。



### 大好きいばらき ふれあいまつりの中止について

例年4月上旬に、三の丸庁舎で開催していました「大好きいばらき ふれあいまつり」は、平成24年の開催を中止することにしましたのでお知らせします。

現在、三の丸庁舎の耐震化等工事(工事期間:H23.12～H24.11)が行われていることや、駐車場の一角に水戸市役所仮庁舎が建設されたことにより、工事用車両や機材等により安全の確保が困難なこと、来場者駐車場などまつり開催に必要なスペースの確保が困難なことから、やむを得ず中止としたものです。

なお、三の丸地域の賑わいを創出し、震災からの復旧・復興を盛り上げるために、平成25年4月のふれあいまつりにつきましては、開催する方向で検討したいと思いますので、よろしくお願いいたします。

### ■編集後記

広報紙「大好きいばらき」を毎号ご愛読いただき感謝を申し上げます。県内各地で開催、実施されております県民運動や各ネットワーカー協議会の活動状況等をお届けしております。

皆様に興味を持って読んでいただくことを念頭におきながら編集に努めておりますが、よりよい内容としていくために、県民運動の情報ばかりではなく、助言やご指導もお待ちいたしております。

黒沼一美 記

### 広報部会

黒沼一美	市原裕子	生武良子
栗原宇津	後藤愛子	小室博子
佐藤伸	中野治美	横須賀太郎

 **大好きいばらき県民会議**

〒310-0011 水戸市三の丸1-5-38 茨城県三の丸庁舎  
TEL.029-224-8120 FAX.029-233-0033  
URL:<http://www.daisuki-ibaraki.jp/>  
E-mail:[info@daisuki-ibaraki.jp](mailto:info@daisuki-ibaraki.jp)

紙面へのご意見やご感想もお待ちしております!